

まちと人の魅力を堪能「熱田ぐるりん！ウォーキング」



「散(3)歩に(2)Go(5)」の3月25日(土)に開催されたイベントに参加しました。
ご尽力いただいた「あつた堀川にぎわい委員会」やご協力いただいた団体の皆さんに感謝しながら、
史跡解説や参加者の方との会話を楽しみました。ありがとうございました。



●白鳥山(はくちょうさん)法持寺(スタート地点)

芭蕉など多くの文人が句会や歌会を開催したと伝わる。草薙天龍さんによる詩吟を交えた説明を伺った後、白鳥公園に向けて出発。

●道中、「あつた堀川にぎわい委員会」委員さんからイベントについて伺いました。

「今回は22回目。コースを毎回変えるが、花期を考慮して、開催日とコース選定をする。自然が相手だから開花が早かったり遅かったりと思惑通りにならないこともあるけどね」とのこと。今回は桜、花桃、トサミズキ、椿など美しかったです。



●白鳥公園内「太夫堀」中水門

かつて「白鳥貯木場(水中貯木場)」があったことが窺える。「太夫堀」の名前は福島正則の官名、左衛門太夫に因む。



聞いたばかりの内容を、すぐに伝えたいくなるような絶妙な解説。

「熱田史跡ガイドの会」は現在、会員数18名。毎月第1、第3木曜日に生涯学習センターにて研鑽を積んでおられる。入会希望者、大歓迎！とのこと。

●江戸時代から続く風習 ～三十三番観音堂巡り～

尾張初代藩主、徳川義直が実施した新田開拓が起源。堀川から庄内川までが三十三に分けられ、それぞれに観音が祀られた。

〈一番観音〉

〈四番観音、五番観音〉



ご参加者からは、「長く住んでいるが、区内に一番から九番までの観音堂があることを初めて知った」、「外国からのお客様へもアピールできる観光資源等」のお声が上がりました。

●途中、参加者スタンプをクロガネモチやクスノキの巨木がある熱田社でもらいました。

参加者のおひとりから「週3回ボランティアで清掃をしている」と伺う。地域の大切な拠り所なのですね。

●ゴールまで、心とからだど頭に刺激を受けた充実の



半日。締め括りは帰宅後、協賛事業者様からのご褒美。優しい甘さで心地よい疲れが癒されました。

今から、次回の「ぐるりんウォーキング」が楽しみです。